

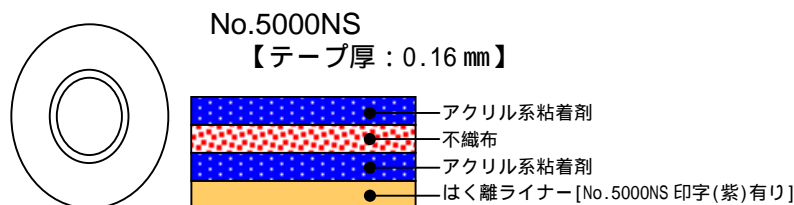
再はく離可能 & 強接着 両面接着テープ

# No.5000NS

## 概要

基材に柔軟かつ強靱な不織布に被着体選択性の広いアクリル系粘着剤を含浸させた両面接着テープです。No.5000NSは、テープ引張強さが高くテープはく離時にテープがちぎれにくいばかりでなく、被着体との長期貼合わせ後のはく離時でも糊残りしにくいいため、再剥離性にもすぐれており、解体によるリサイクルが必要な用途に適した両面接着テープです。

## テープ構成



## 特長

テープ強度が強靱なため材料がちぎれて、テープを取る面倒な作業が不要です。  
のり残りし難く、再はく離性にすぐれています。  
使用範囲、使用温度範囲が広く、反撥保持性にもすぐれています。

## 用途例

金属板、プラスチック板、発泡体などの接着用。  
プリンタ、複写機などのOA機器や、テレビ、エアコンなどの家電機器のクッション材、シール材の接着用。  
携帯電話、パソコンなどの内部部品とPETフィルムなどの接着用。  
再はく離を要する用途に適しています。

## サイズ

テープ厚(mm)	幅(mm)	長さ(M)
0.16	2 ~ 1,200	50

詳細は弊社営業担当者まで問い合わせください。

特 性

再はく離性

被着体	No.5000NS		従来品	
	はく離性	糊残り	はく離性	糊残り
ステンレス板			×	×
アルミニウム板			×	
PP板			×	×
ABS板			×	×
アクリル板				
PCABS板			×	×
PS板			×	×
PC板			×	×
PVC板			×	×
PET板			×	×
ガラス板			×	×

はく離性の判定

: ちぎれることなくはく離する

× : はく離と同時にちぎれる

【はく離性試験方法】

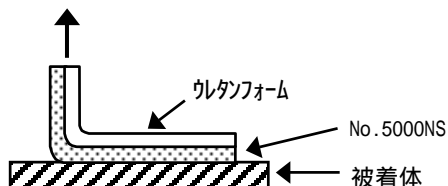
裏打ち材 : 5mm厚ウレタンフォーム

テープ幅 : 3mm

保存条件 : 60 × 90%RH × 15日

引張速度 : 300mm/min

はく離角 : 90°



のり残りの判定

: のり残りなし

: わずかにのりが残る

× : かなりののりが残る

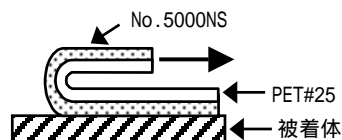
【のり残り試験方法】

テープ面積 : 20mm

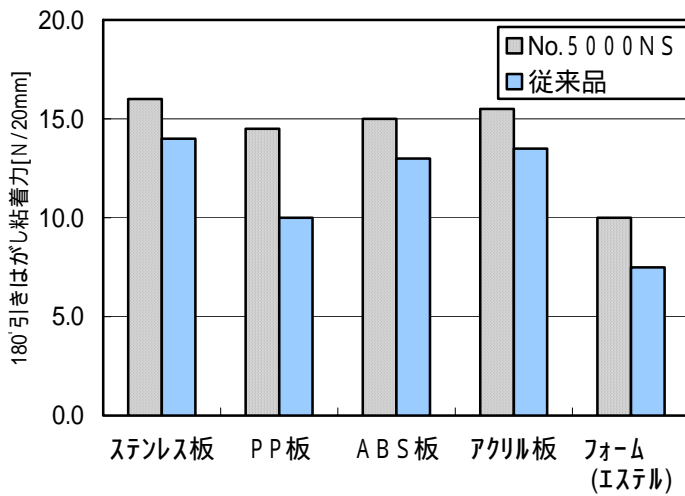
裏打ち材 : PET#25

引張速度 : 300mm/min

はく離角 : 180°



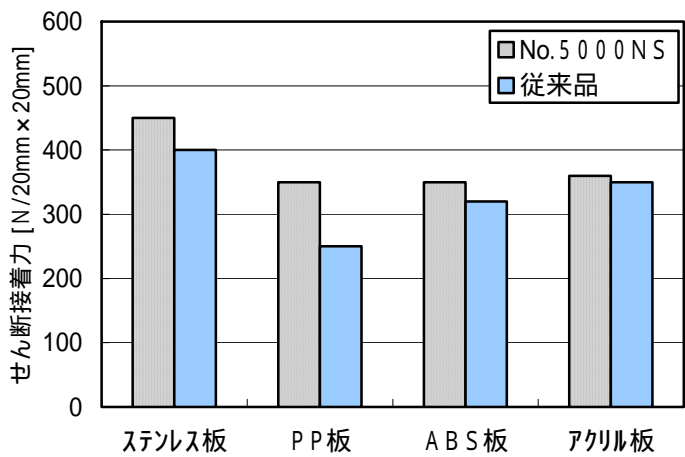
180°引きはがし粘着力 - 被着体別



(単位：N/20mm)  
 裏打ち材：PET#25  
 引張速度：300mm/min  
 引張角度：180°  
 測定温度：23 × 50%RH

被着体	No.5000NS	従来品
ステンレス板	16.0	14.0
アルミニウム板	15.0	13.0
PP板	14.5	10.0
ABS板	15.0	13.0
アクリル板	15.5	13.5
PCABS板	15.5	14.0
PS t板	16.0	12.5
PC板	16.0	15.5
PVC板	19.0	17.0
PET板	15.0	13.0
ガラス板	14.5	14.0
フォーム(エステル系)	10.0	7.5
フォーム(エ-ル系)	7.0	5.0

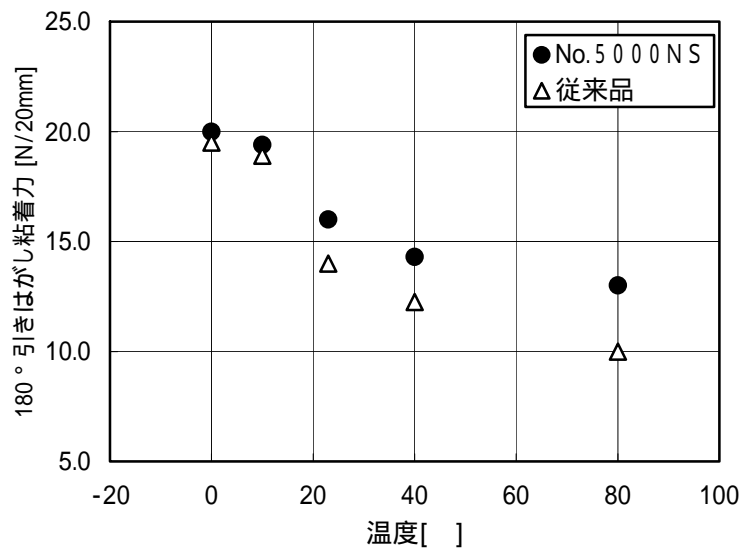
せん断接着力 - 被着体別



(単位：N/20mmx20mm)  
 引張速度：50mm/min  
 測定温度：23 × 50%RH

被着体	No.5000NS	従来品
ステンレス板	450	400
アルミニウム板	400	380
PP板	350	250
ABS板	350	320
アクリル板	360	350
PCABS板	370	340
PS t板	400	400
PC板	410	400
PVC板	500	500
PET板	400	380
ガラス板	500	450

180°引きはがし粘着力 - 温度別



良好  
↑  
特性  
↓  
悪化

(単位：N/20mm)

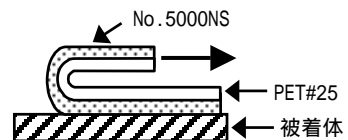
裏打ち材：PET#25

被着体：ステンレス

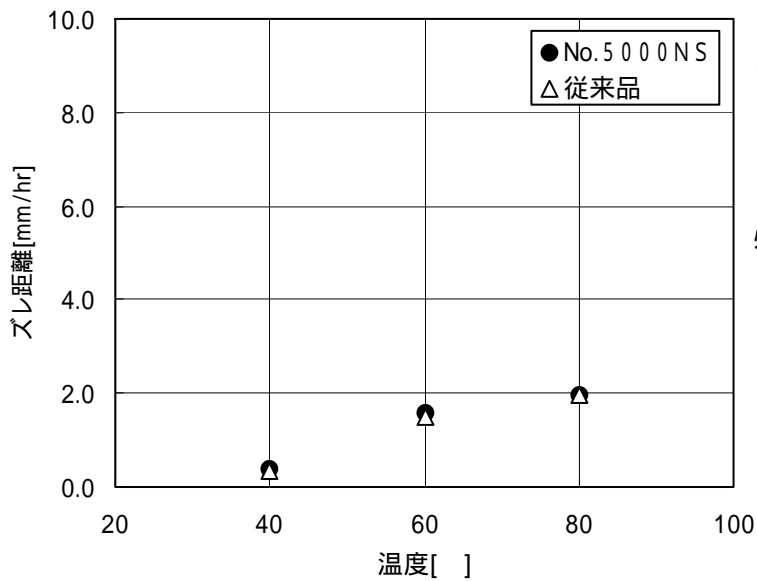
引張速度：300mm/min

引張角度：180°

測定温度：0, 10, 23, 40, 80



保持力



悪化  
↑  
特性  
↓  
良好

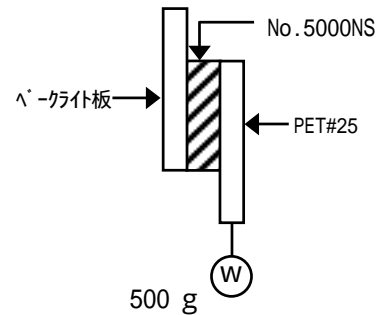
(単位：mm/hr)

貼付面積：20mm × 10mm

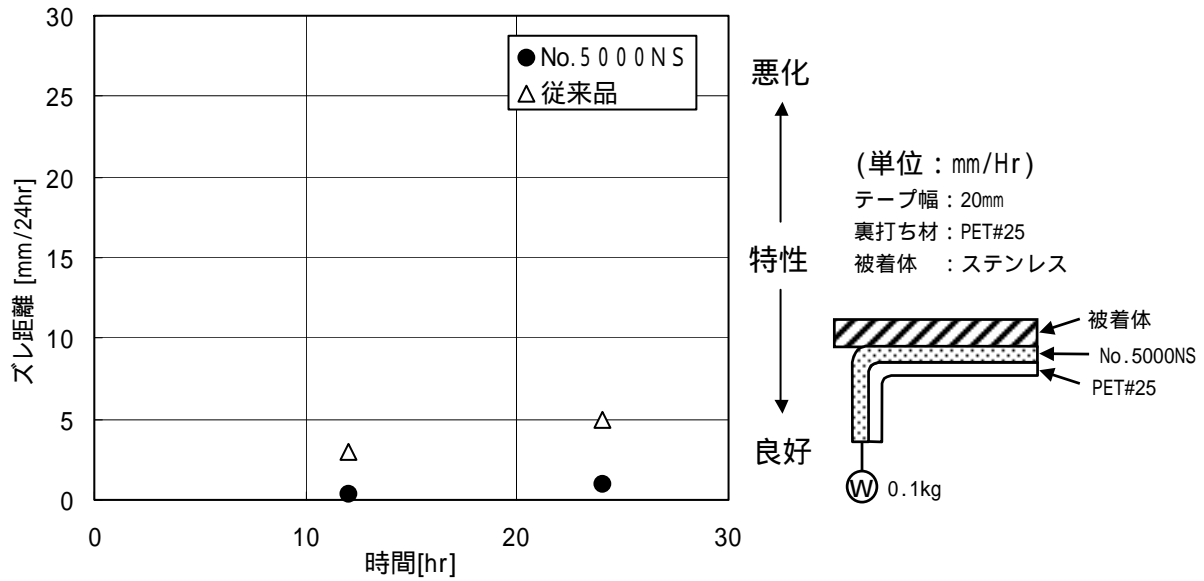
裏打ち材：PET#25

被着体：ベークライト

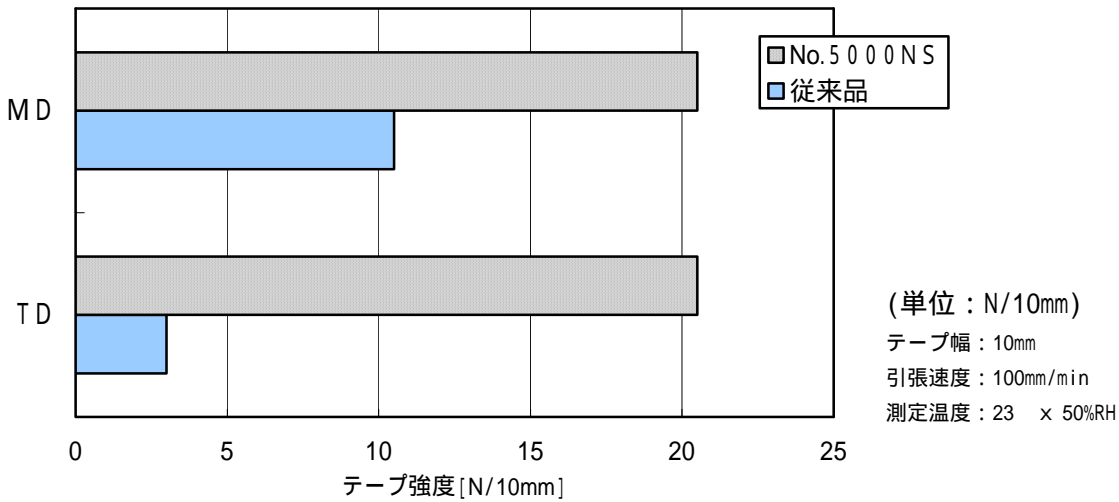
測定温度：40, 60, 80



定荷重はく離



テープ強度



## 使用上の注意

被着体の表面の油分・水分・ゴミなどは、きれいに除いてください。  
感圧性粘着剤ですので、圧着はローラー・またはプレスにて十分行ってください。  
圧着が不十分な場合、特性及び外観に影響を与えます。  
凹凸面や歪みの大きいものにはきれいに接着しない場合があります。できるだけならしてください。  
テープ本来の粘着力を発揮するまでには、少し時間がかかりますので、少なくとも貼り付け後数時間はテープに大きな力がかかる置き方や使い方は避けてください。

## 保管の注意

必ず箱に入れて保管してください。  
保管場所は直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。

## 安全上の注意



### 注 意

使用に際しては、本製品が用途(目的・条件)に適應するか、十分検討の上、ご使用ください。  
被着体や貼りつけ条件によっては、はがれたりする可能性があります。  
事故につながる可能性がある場所などに使用する際は、他の接合方法と併用してください。

2003年4月発行

この文章の著作権は、日東電工株式会社にあります。弊社の使用目的以外にこの文章を使用される場合は、事前にご相談ください。弊社に無断の複写、転載は固くお断りいたします。疑問の点は、本書発行担当者までお問い合わせください。尚、本資料のデータは測定値であり、保証値ではございません。

お問い合わせは・・・ 接合材事業部 カスタマーセンター Tel.0532-41-8400

# 日東電工株式会社